

(令和8年1月23日発表)

中央図書館「浮世絵に見る着物文化と染の技」展示・特別講演会の開催

◆ アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・『江戸に咲く美のかたち』と題した、静岡市在住のきもの文化研究家・萩原敏司氏の貴重なコレクションの展示会の後期展示を開催します。 ・後期展示は『浮世絵に見る着物文化と染の技』をテーマに、歌川広重の「東海道五十三次」に描かれている江戸時代の着物や染物について、その技法や意匠を紹介します。 ・重要無形文化財に指定された城之口みゑ氏の手による伊勢型紙や、葛飾北斎の櫛のデザイン見本帳『今様櫛きん雛形』(1823年)など貴重な資料を展示します。 ・期間中萩原氏による特別講演会も実施します。
◆ 日時・期間	<p>前期展示：令和8年1月29日(木)～3月8日(日)</p> <p>特別講演会：令和8年2月8日(日) 13時30分～15時</p>
◆ 場 所	<p>静岡市立中央図書館 (葵区大岩本町29-1)</p> <p>展示:玄関ホール 特別講演会:2階 ホール</p>
◆ 内 容 など	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的な染色用型紙・伊勢型紙の糸入れ(細かく彫られた型紙がバラバラに崩れないよう絹糸を張ってつなぎ止める技法)に対し、1955年に重要無形文化財(人間国宝)に指定された、城之口みゑ氏の手による伊勢型紙や、京友禅の布カATALOGである巻き見本などを展示します。 ・特別講演会では、資料を所蔵する萩原敏司氏が染色の技法などをさらに深く理解するために、多数の画像資料を用いて解説します。 <p>【講師・展示協力】萩原敏司 氏(きもの文化研究家)</p> <p>1932年生まれ。元株式会社紺文シルク会長。2011年、きもの鑑定士として「開運!なんでも鑑定団」(テレビ東京)に出演。大学などでの講師経験多数。</p> <p>詳しくは図書館ウェブサイトをご覧ください。 https://www.toshokan.city.shizuoka.jp/lib-chuo/event/20260106-post_42.html</p>
◆ 対象・人数	<p>展示:どなたでも 特別講演会:事前に申し込んだ 60人</p>

別紙資料 無

ぜひ取材をお願いします!



【問合せ】

中央図書館 サービス係 (葵区大岩本町)
 担当 井柳・望月
 電話 054-247-6711